

公立神崎総合病院

	住所	神河町栗賀町385番地
	アクセス	電車、JR播但線寺前駅からバスで15分 自動車、播但連絡道路神崎南ランプから5分
	病床数	140床
	一日平均患者数	入院105名、外来408名

求人情報			
診療科目	内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、外科、胃腸外科、血管外科、脳神経外科、神経科、麻酔科、整形外科、精神科、小児科、泌尿器科、皮膚科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、歯科、総合診療、心療内科		
診療時間	平日	午前 8:45～午後 5:00	
	土曜	休診（救急診療 午前 8:30～午後 5:00）	
	日曜・祝日	休診（救急診療 午前 8:30～午後 5:00）	
併設施設	訪問看護ステーション、ケアステーションかんざき（小児療育）		
募集科目	総合診療、内科系を中心に検討中		
勤務条件	若干名		
求人年齢	50歳くらいまで		
就任希望時期	随時		
医師住宅	有り	福利厚生	病院親睦会規程による
給与概算額	（医師免許取得から10年目） 本俸 419,500円、管理職手当 80,000円、医師手当 450,000円、 研究手当 200,000円 賞与 4.4か月 約 15,639,800円 （ただし、扶養手当、通勤手当、住居手当、時間外勤務手当、宿日直手当、呼出し手当等は除く。）		
地域の暮らしや、働く環境等			
市・町って どんなところ？	2ページ目以降 1に記載		
診療所がある 地域って どんなところ？	2ページ目以降 1に記載		
医師の生活は？	3ページ目以降 2に記載		

PR事項・その他	
PRしたいこと	4ページ目以降 3に記載

問合せ先	TEL	0790-32-2488	担当者名	井上淳一郎
	E-mail	soumuka1@kanzaki-hp.jp		

1. 市・町、病院周辺地域ってどんなところ？

公立神崎総合病院は、兵庫県にある公立病院の中でも姫路から但馬間の医療を担う唯一の病院として、播但連絡自動車道路と中国縦貫道路が交差する福崎インターチェンジに近く、兵庫県のほぼ中央部、姫路市の北 25 kmに位置し、中播磨北部、但馬南部の地域医療を担う公的病院として役割を果たしています。

公立神崎総合病院がある神河町は、兵庫県のほぼ中央に位置するハート型のまちとして、平成 17 年 11 月 7 日に神崎町と大河内町が合併し、誕生しました。2023 年 4 月現在の人口は、約 10,500 人で、兵庫県一小さな町となっていますが、豊かな自然や農産物、多数の観光資源、文化・スポーツ施設を有するなど、心の豊かさを育むための環境が充実し、また各集落地区における住民主体の自治活動も活発に行われています。

北部は、朝来市、東部は多可町、南部は市川町、姫路市、西部は宍粟市と接しており、古くから播磨と但馬を結ぶ、歴史ある地域として発展してきました。南北に JR 播但線と国道 312 号線、播但連絡道路が走り、町の南約 15 ㌔の福崎町には中国縦貫自動車道が位置していることから、姫路市内まで約 40 分、京阪神まで約 1 時間 30 分以内の、良好なアクセス環境が整っており、便利な田舎として、暮らしやすい地域になっています。

町の面積は、202.27 平方キロメートルで、その 8 割を山林が占めており、千町ヶ峰を筆頭に、千ヶ峰・暁晴山など、1000m 級の高山に囲まれています。峰山・砥峰高原は西日本屈指の高原地帯となっており、自然志向型の都市住民との交流の場ともなっています。一方、平野部分においては、小田原川、市川、越知川といった清流沿いに集落地区が点在しており、「ホテル」や「鮎、あまご」といった生き物が生息し、自然とふれあえる快適な環境づくりが整備されています。

近年は、地域創生、定住促進を町のスローガンに掲げ、住宅用地の整備とともに、基幹産業として発展した農林業や、水力発電所、工業団地の開発、観光施設の整備や特産品開発が進むなど、恵まれた自然環境と交通条件を活かした地域振興が進められています。

大河内(おおかわち)高原は、滝・山・池と観光スポット多く、1000m を超える山々に囲まれた峰山高原にある峰山高原ホテル「リラクシア」周辺には、日本で最も新しいと言われるスキー場、キャンプ場、グランピング施設、遊戯施設が整備され、満点の降りそそぐ星空も仰げることから、京阪神方面から多くの観光客が訪れ、心と身体のリフレッシュが図れるスポットとなっています。

砥峰高原は、展望テラスから西日本有数の広大なススキ草原を一望に見渡せ、高原散策のくつろぎの場となっています。また、平家そば処「交流庵」を併設し、本格手打ちそばが味わえます。

町の北東端の新田ふるさと村は、キャンプやアウトドアが体験できるばかりでなく、約 20 キロの道を自転車で行く人気の「越知川名水街道自転車下り」が有名。それぞれ、自由に自然の中を探索したり、神河町の名所を観光しながら清流にそって走れば、車では気づかないような、花の香りや道端の草花に出会うことができます。

途中、千ヶ峰山のふもと、千ヶ峰南山名水は岩盤下 162m からくみ上げた、まろやかな味が人気で、名水を使った水

饅頭・わらびもちなども買えます。

四季折々のアウトドアイベントで賑わういこいの村「グリーンエコー笠形」。キャンプ場やウッドハウス、コテージ、多目的グラウンド、体育館と設備も充実。総合案内所ではレストランや宿泊施設、温泉もあります。4月から5月末まで約1,000匹のこいのぼり大空遊泳は是非ご覧ください。

遊ぶ・食べる・体験ができる大人から子供まで楽しめるスポット「ヨーデルの森」は、西日本初のアルパカ牧場をはじめ、小動物とのふれあい広場、バードパフォーマンスショーやドッグパフォーマンスショーがあり、パンやバター、アイスクリーム作りなどの手作り体験やクラフト体験もできます。

その他、神河町には、世界の桜240品種が咲きほこる桜華園（おうかえん）や、水車、梅花藻、複数のそば処、ゴルフ場もあり、ワークライフバランスが取れた生活が堪能できます。

暮らしにおいては、子育て環境として、保育所2園、幼稚園2園、小学校3校、中学校1校があり、「預かり保育」や「学童保育」も実施しています。また、スーパーや商業施設は、主に町の中心部で病院付近に、大型スーパー、ホームセンター、薬局が複数点在しており、生活の利便性も劣ることはありません。

2. 医師の生活

①通勤

当院は、比較的アクセスも便利であることから、姫路市内、遠くは神戸市北区及び西区辺りから通勤されています。また、宿舎としての官舎も整備しており、月2万円で神河町に居住することが可能です。

②業務

当院は、A水準の病院として、日直、当直は規定以下の回数となっています。長時間勤務となっている医師はいません。

公立神崎総合病院の基本理念

基本理念：

私たちは「和」の心を大切に、地域と一体となって皆さまの健康と生活をさせることを第一に考え、頼られる病院づくりを目指します。

私たちは、常に医の心をわきまえて自己研鑽に努め、資質の向上をめざして職員相互が「和」の心を大切にしてチーム医療を行います。また、医の原点は患者さんに対するサービスです。患者さんの権利と立場を尊重し、奉仕の心で患者さん中心の安全な医療を行い、快適さと心のやすらぎを提供していきます。そして、地域の皆様の病院として関連機関と連携を深め、皆様の健康を守り、信頼され選ばれる病院となるよう努めます。

地域医療への使命と責任感・円滑な医師間の連携

『地域に根差す総合力の高い医師が集まる病院』 公立神崎総合病院

地域医療の役割を担い、各種学会発表や研究にも取り組む中において、当院の強みはベテランの医師が多く、医師同士の連携、チームワークが良好なことです。科目内はもちろんの事、他科との連携もスムーズです。医師数は決して大人数ではありませんが、その一人一人のドクターの人柄と医療分野のスキルがクローズアップされ、それがうまく

融合し、病院全体を盛り立てています。地域の身近な病院として、アットホームな印象であることから、落ち着ける安心感の漂う病院です。

病院全体を取りまとめる院長は、自らが外来診療や手術にも従事しており、各科医師とのコミュニケーションも良好です。その院長の下、それぞれの専門分野を担う 2 人の副院長と事務長、各部長を筆頭に円滑な協議が行われており、各科の垣根を越え病院運営の要となっています。

診療分野においては一人一人の医師の地域医療に対する責任感と使命感があり、患者さんにとって安心感を与えています。臨床のみではなく、研究や高度医療分野までを担うスキルがあることも、その理由の一つです。

当院の使命は、患者さんに「寄り添う」ことをキーワードにして、「ハートのふれあう地域医療」を目指していますが、昨今の病院運営は、コロナ禍を経て継続する人口減少等の諸問題も相まって、引き続き難解な局面を迎えています。

何より患者さん、ご家族のために「いま自分にできることは何か」、できない理由ではなく、どうすればできるかを考え、「ワンチーム・ONE FOR ALL ALL FOR ONE」の精神で笑顔がある病院を創っていきます。

3. PR したいこと

公立神崎総合病院では、地域医療に意欲的な医師を求めています。外来から看取り、在宅まで幅広く患者さんを診ていただくことが可能となっています。

へき地、医師が不足地域ではありますが、都会の大病院では感じることのない、患者さんそれぞれの環境や状況に応じた、田舎特有の人情味ある身近な医療を行うことができます。

【募集科目】 ・総合診療、内科系を中心に若干名

内科医常勤は 6 名（総合診療含む。）で、ベテランが大半を占めています。一般内科診療はもちろんの事、特に循環器、呼吸器疾患を専門とし、中でも心不全、高血圧、ペースメーカー植え込み後の管理、心エコー検査、呼吸器感染症、喘息、肺気腫、肺癌、在宅酸素療法、気管支鏡検査、血液透析、経内視鏡的胃瘻造設術に力を入れています。循環器、呼吸器科の診療は内科の中で特にチームワークを要する為連携重視に取り組んでいます。また予防医学の観点より、生活習慣病のコントロールを目指し糖尿病教室を開くなど取り組んでいます。

臨床研究も盛んで、過去には米国心臓病会議（ACC）に当科からの演題が採択され発表しました。

症例報告も行いながら知識のブラッシュアップに努めています。日本循環器学会認定循環器専門医研修関連施設と日本呼吸器学会認定施設の認定を受けていますので、研修を希望される先生方の受け入れを歓迎しています。

研修制度ドクターの学会への参加は、5 学会まで病院負担としています。

また、病院として次の研修施設の認定を受けています。

大阪医科薬科大学及び千船病院臨床研修施設、日本外科学会専門医制度関連施設、麻酔科認定病院、整形外科学会研修施設、日本経腸栄養学会 N S T (栄養サポートチーム)稼働施設、救急救命士薬剤投与実習病院、姫路市医師会看護専門学校実習施設